

#### (4) 就労について

問12 一般的に、女性が仕事をもつことについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。また、あなたの家庭において現状にあてはまるものを、それぞれ1つ答えてください。(単数回答)

図 19-1

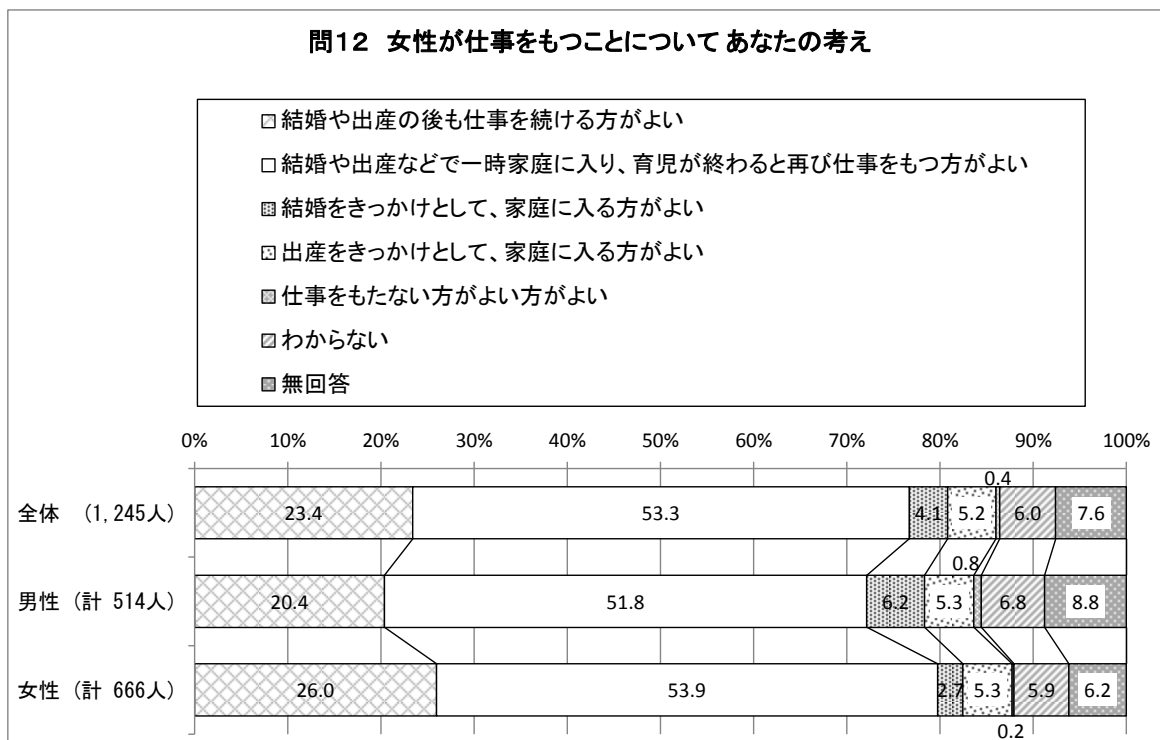
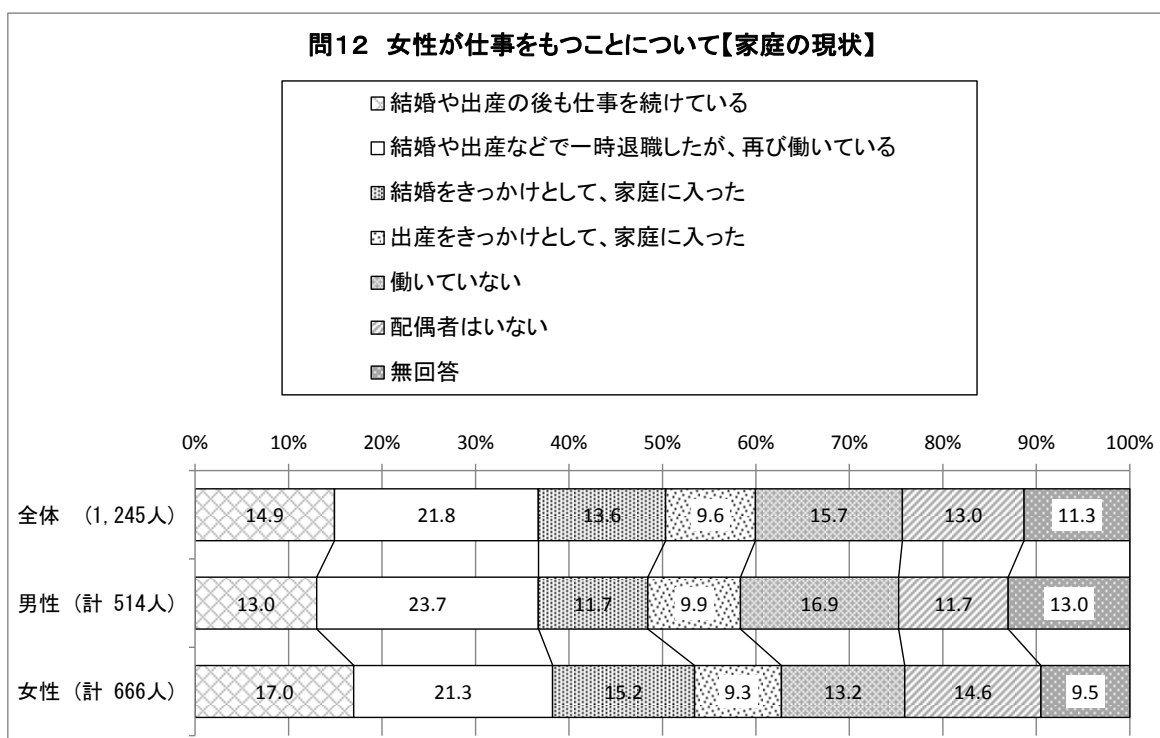


図 19-2



【図 19-1】「女性が仕事をもつことについて」の考え方では、男性では 51.8% (55.2%) が、女性では 53.9% (60.1%) が「結婚や出産などで一時家庭に入り、育児が終わると再び仕事をもつ方がよい」と回答している。また男性の場合「結婚をきっかけとして、家庭に入る方がよい」との回答が 6.2% (13.1%)、「出産をきっかけとして、家庭に入る方がよい」との回答が 5.3% (4.6%) あり、合計で 11.5%を占める。女性では、「結婚や出産で家庭に入る方がよい」との回答は 8.0% (8.0%) と少なく、男女の意識の差が若干ある。

「結婚や出産の後も仕事を続ける方がよい」という考えは、女性で 26.0% (21.5%)、男性で 20.4% (15.4%) となっている。前回の調査との比較では、男性で「結婚や出産などで一時家庭に入り、育児が終わると再び仕事をもつ方がよい」とする割合が減り「結婚や出産の後も仕事を続ける方がよい」とする回答が増加している。

【図 19-2】家庭の現状をみると、「結婚や出産後も仕事を続けている」14.9%「一時退職したが再び働いている」との回答が 21.8%、合計で 36.7%と、3人に1人が働いている。一方「結婚をきっかけとして、家庭に入った」13.6%「出産をきっかけとして、家庭に入った」との回答が 9.6%、合計で 23.2%であり、「結婚や出産などで一時家庭に入り、育児が終わると再び仕事をもつ方がよい」との考え 53.3%と比較すると、女性が再び就業することが困難であることがわかる。

図 19-3

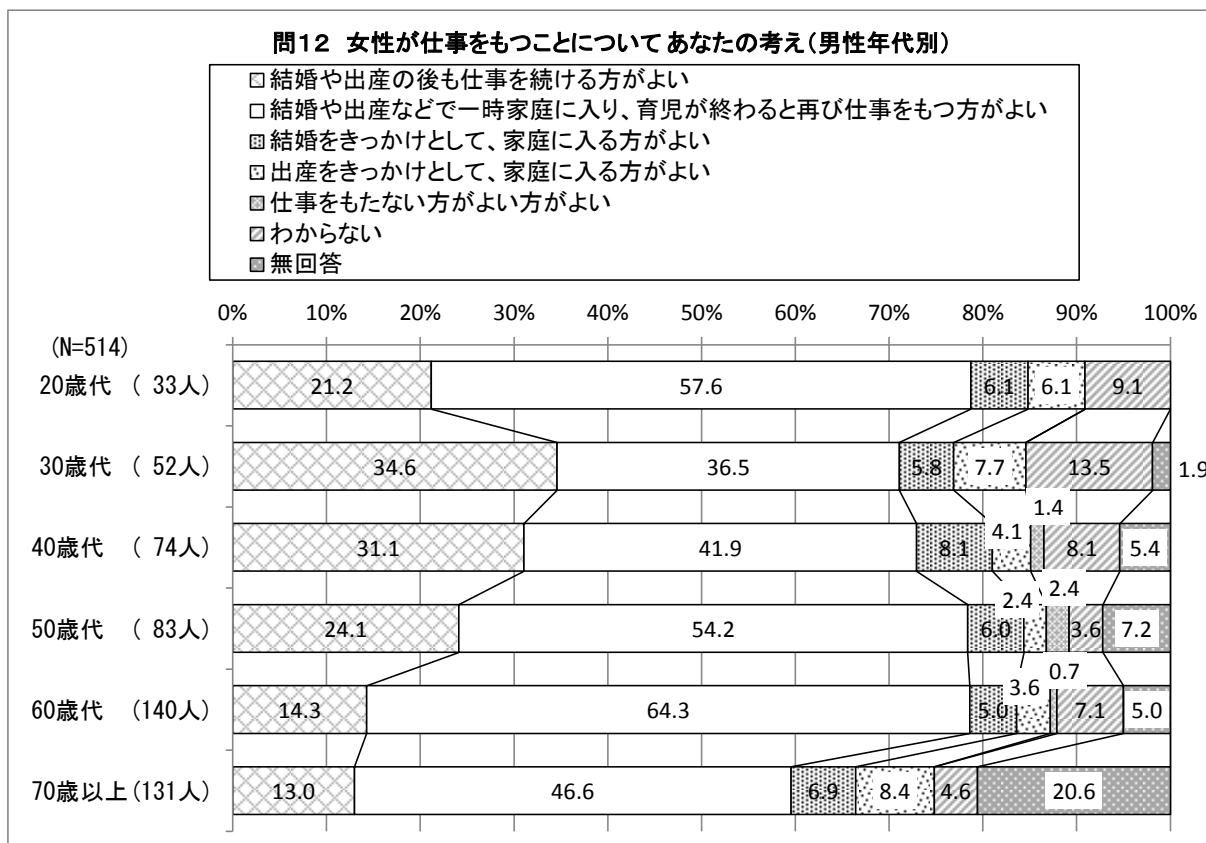
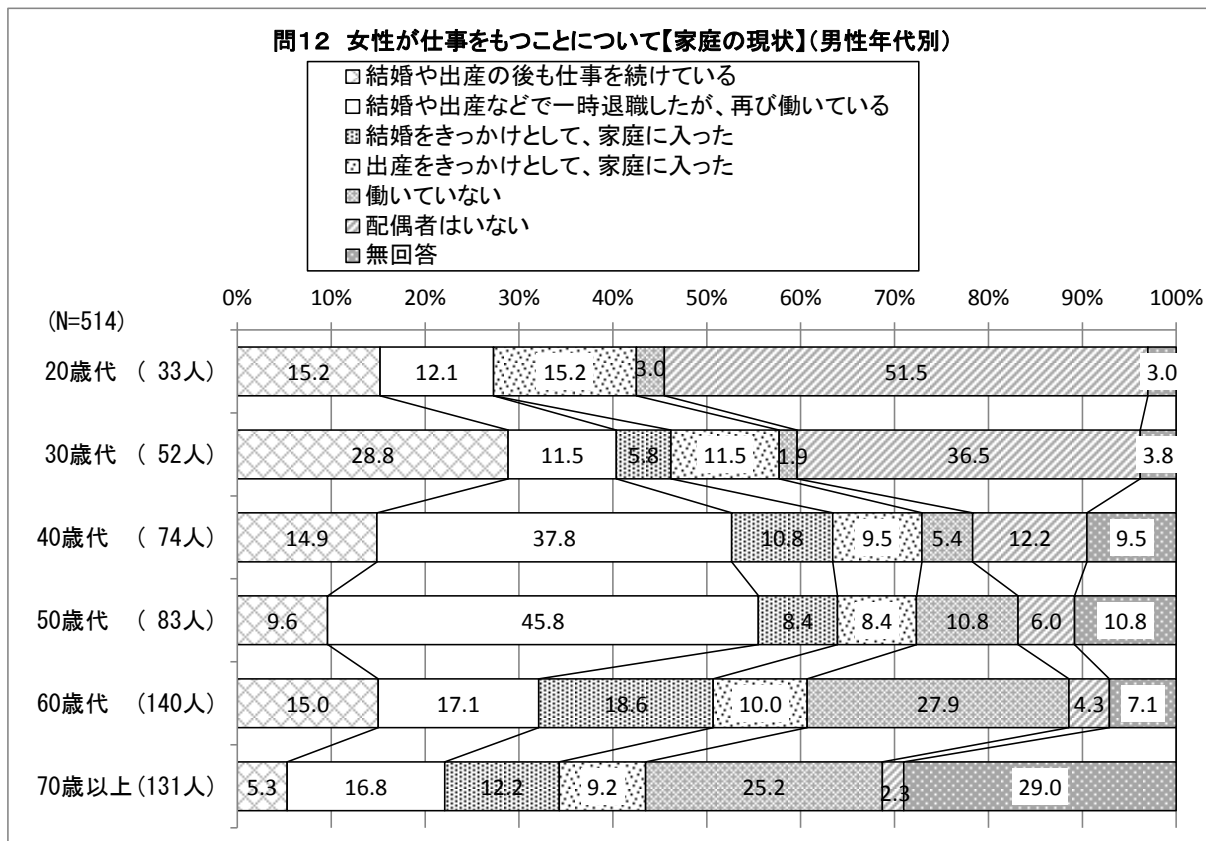


図 19-4



【図 19-3】男性の場合、年代別にみると「結婚や出産の後も仕事を続ける方がよい」は20歳代で21.2%、30歳代では34.6%、40歳代では31.1%となり、30歳代以上で年代が高いほど、その割合は低下している。一方で、「結婚や出産などで一時家庭に入り、育児が終わると再び仕事をもつ方がよい」は20歳代で57.6%、30歳代で36.5%、40歳代で41.9%と30歳代以上60歳代に至るまでその割合は上昇している。結婚出産をきっかけとして、「家庭に入る方がよい」が30歳代で13.5%、40歳代で12.2%、50歳代で8.4%と減少する傾向にある。

【図 19-4】現状については、20歳代、30歳代は「配偶者はいない」が多いため、全体的に他の項目が低くなっているが、30歳代では「結婚や出産後も仕事を続けている」が考えに近い。40歳代、50歳代では「結婚や出産後も仕事を続けている」は考えと現状では開きがある。

図 19-5

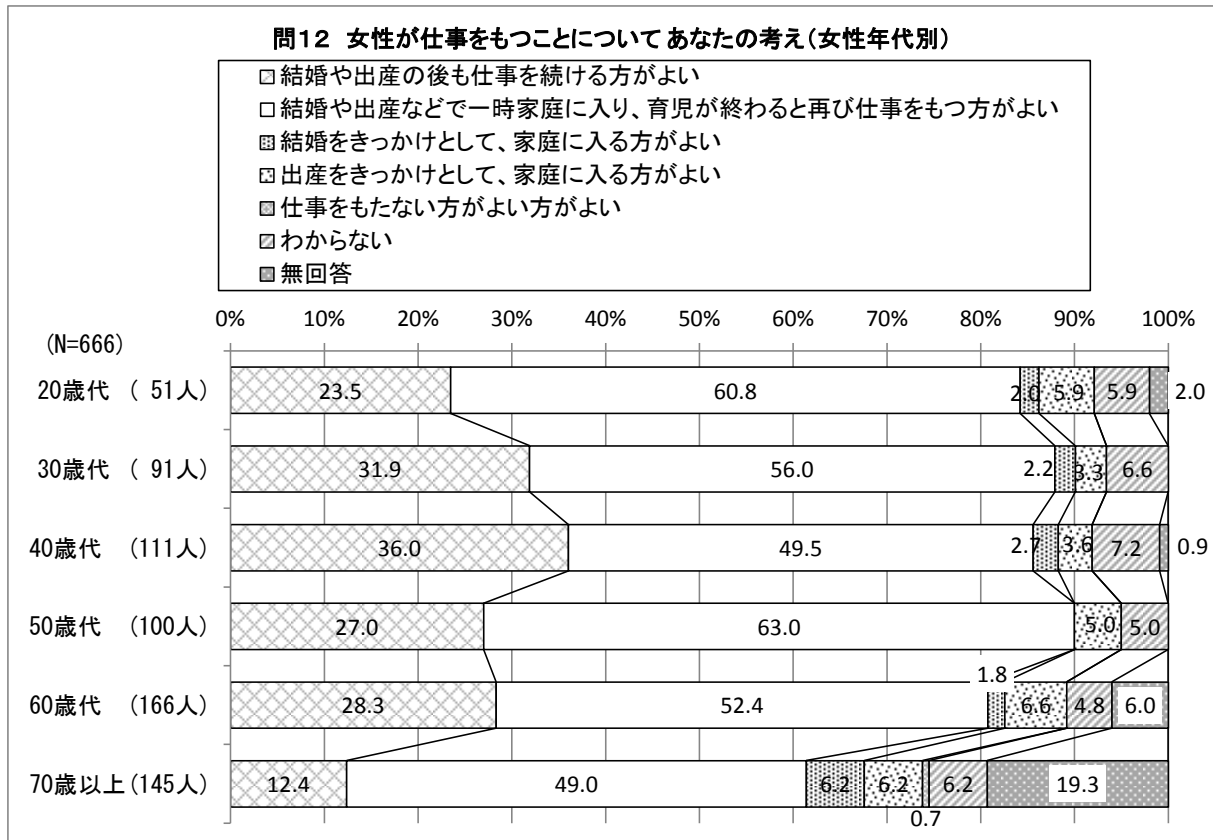
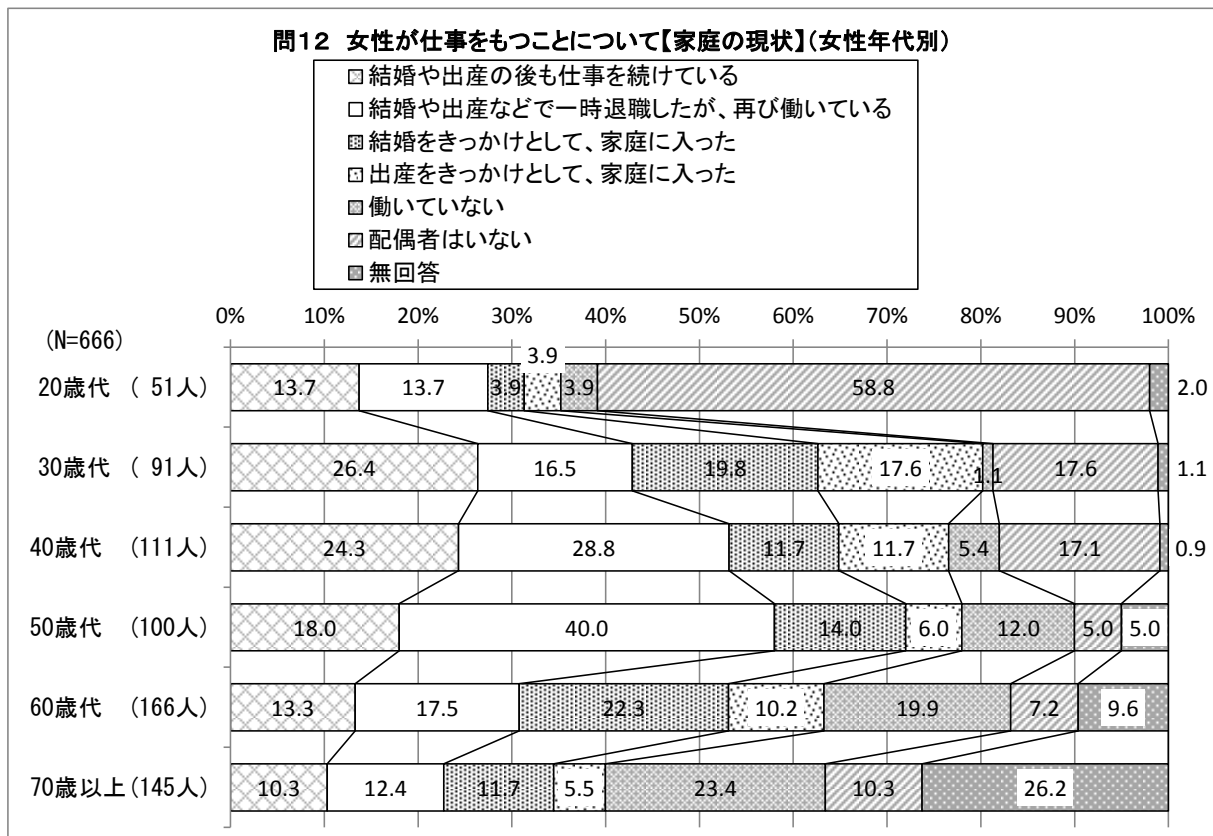


図 19-6



【図 19-5】女性の場合、30 歳代、40 歳代は、「結婚や出産の後も仕事を続ける方がよい」は 30% を超えているが、50 歳代以上の年代では低下する。「結婚や出産などで一時家庭に入り、育児が終わると再び仕事をもつ方がよい」は、20 歳代で 60.8%、30 歳代で 56.0%、40 歳代で 49.5% となり、50 歳代で 63.0% と最も高くなっている。

【図 19-6】現状は 30 歳代以上で「結婚・出産をきっかけとして、家庭に入った」という割合が高くなっているものの、再就職により、40 歳代、50 歳代では、仕事を継続している人を含めると半数以上が働いている。

問13 女性の方におたずねします。あなたは現在、仕事をしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。(単数回答)

図 20-1

問13 女性の方で現在、仕事をしていますか

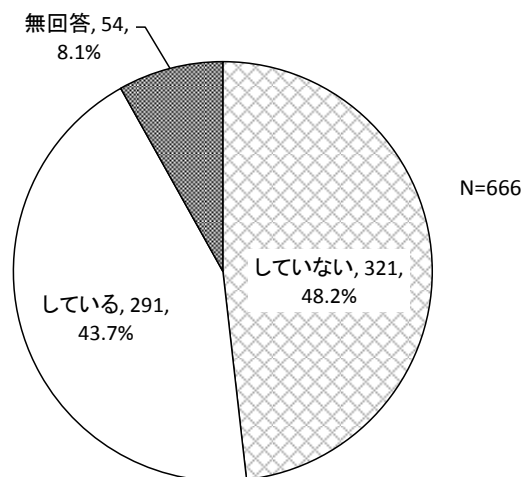
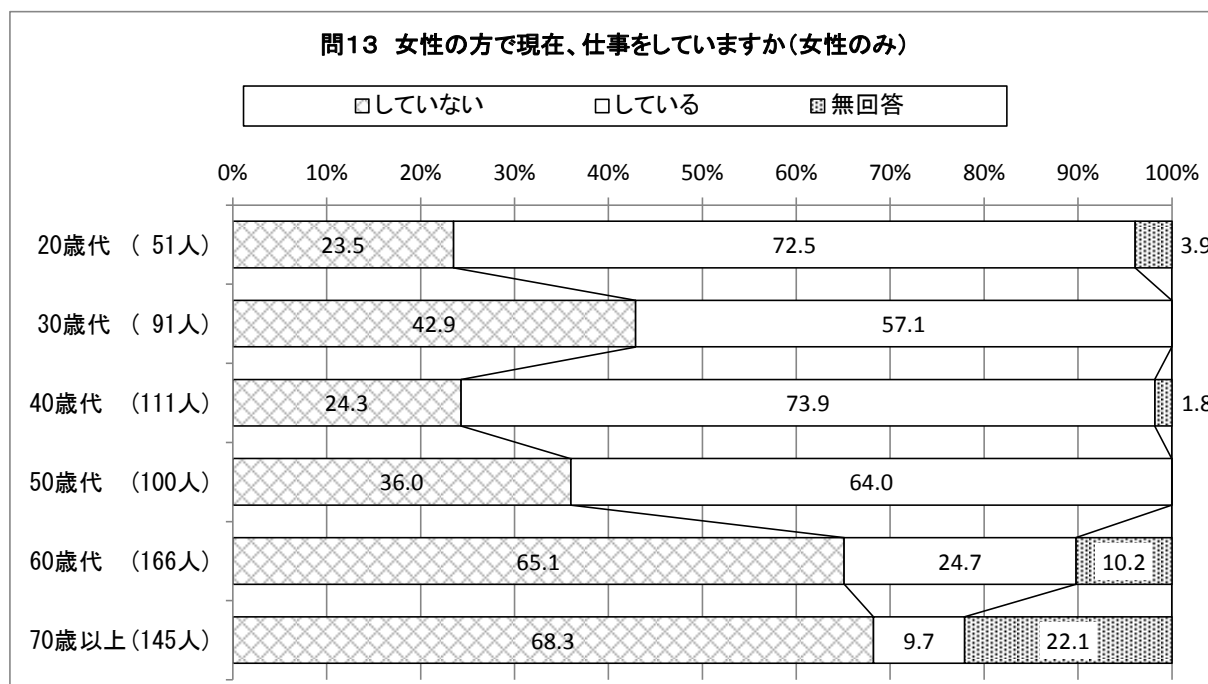


図 20-2



「現在、仕事をしていますか(女性のみ)」については、「している」との回答が43.7%(42.5%)、「していない」が48.2%(50.5%)となっている。年代別では、20歳代、40歳代で仕事を「している」が70%以上の割合を占める。

問13-① 問13で「1. していない」を選ばれた方におたずねします。今後、適切な仕事があれば働きたいと思えますか。(単数回答)

図 20-3 (問 13 で仕事を「していない」を選ばれた方)

問13-1 今後、適切な仕事があれば働きたいか

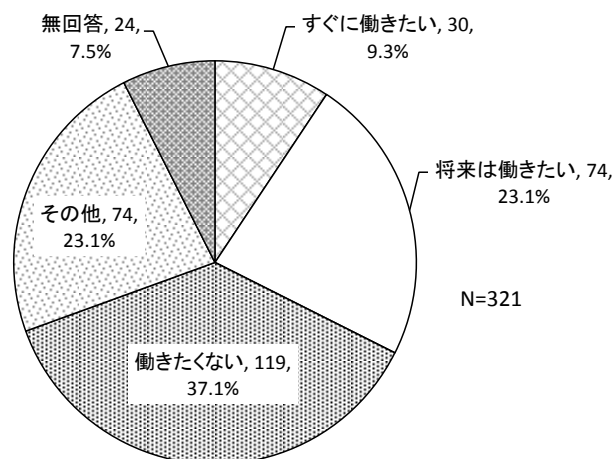
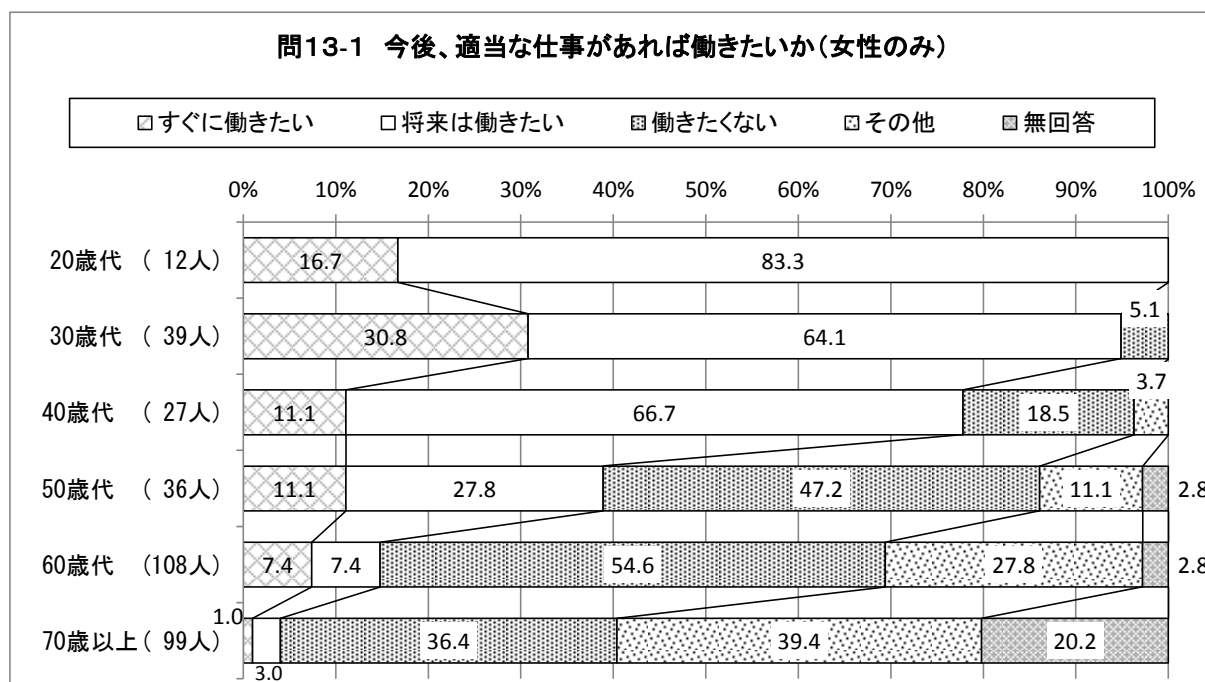


図 20-4 (問 13 で仕事を「していない」を選ばれた方)



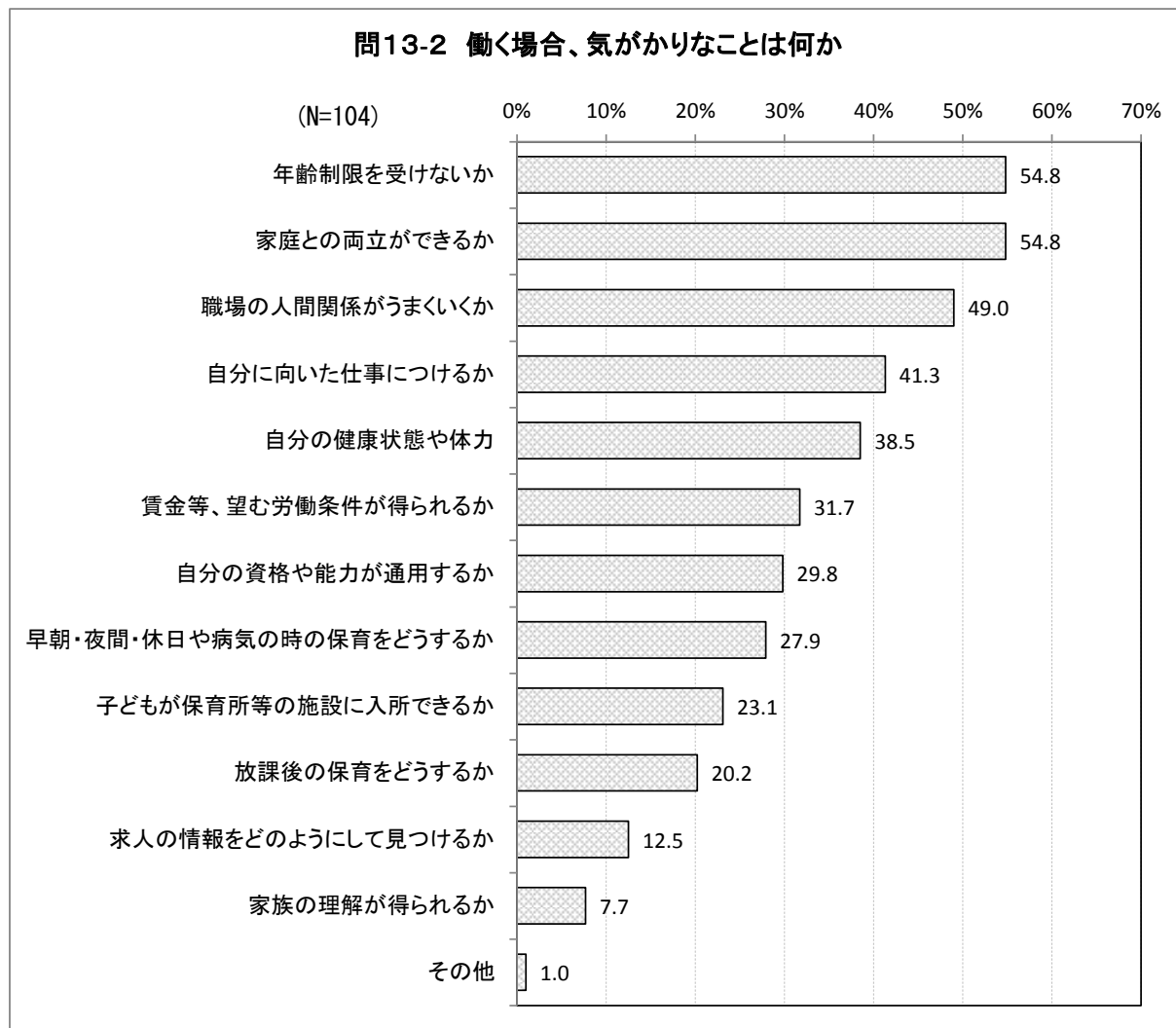
【図 20-3】「今後の就業意向 (女性のみ)」については、「すぐに働きたい」が 9.3% (12.5%)、「将来は働きたい」が 23.1% (20.7%) と 3分の1 近くが就業の希望を有している。

【図 20-4】「年代別にみると、50 歳代以上では、「働きたくない」、「無回答」の割合が 50%と高くなっている。一方、20 歳代、30 歳代で、「すぐに働きたい」「将来は働きたい」の割合を合わせると 90%を超え、特に 30 歳代の 3 割が「すぐに働きたい」と就業を希望していることがわかる。



問13-② 問13で「1. すぐに働きたい」または「2. 将来は働きたい」を選ばれた方におたずねします。働く場合、気がかりなことは何か。（複数回答）

図 20-5

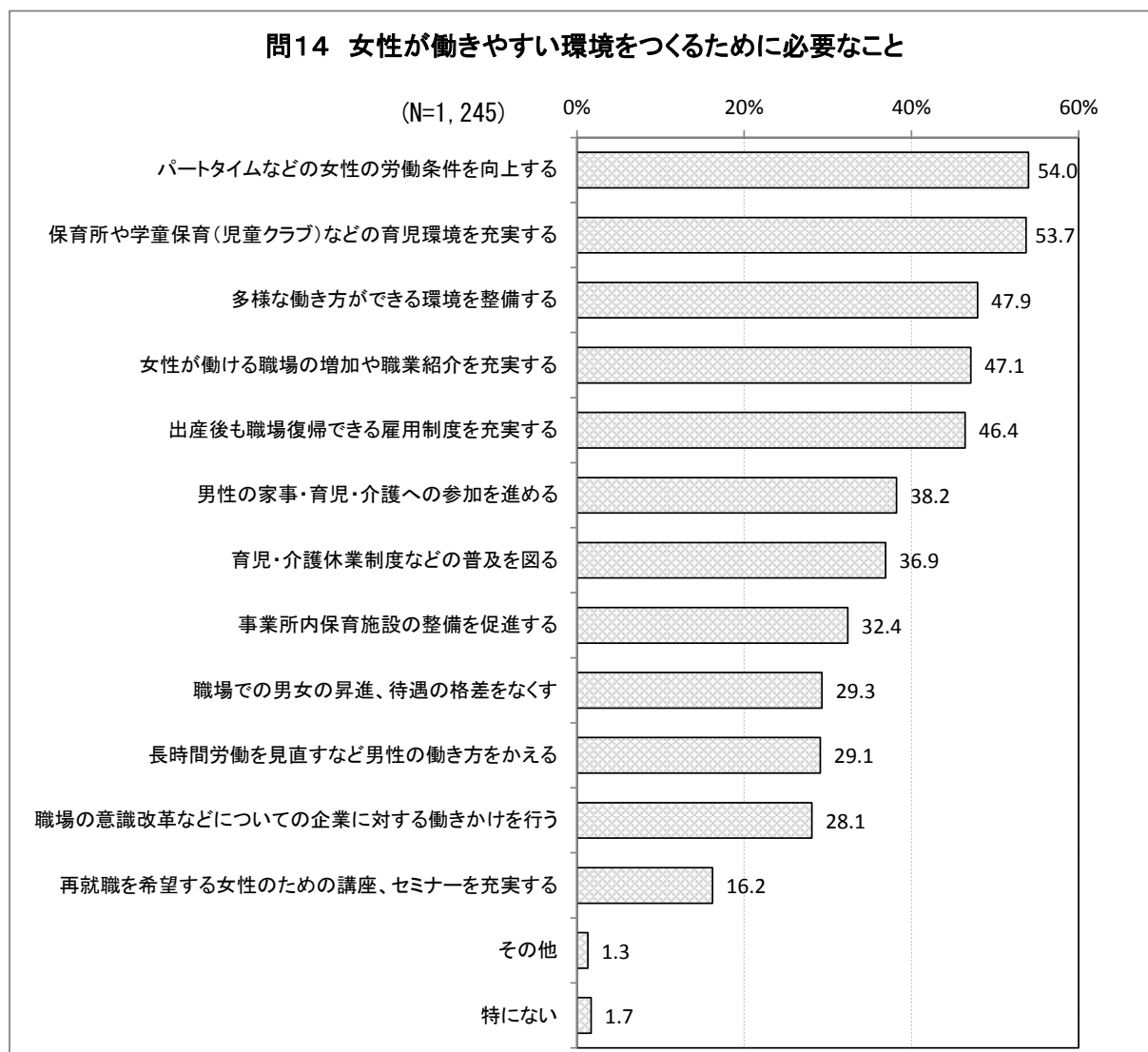


「働くにあたって気がかりなこと（女性のみ）」については、最も多い回答は、「年齢制限を受けないか」と「家庭との両立ができるか」で 54.8%を占める。「年齢制限を受けないか」は前回の調査（59.8%）よりも低く、「家庭との両立ができるか」（49.6%）は増加している。

続いて「職場の人間関係がうまくいくか」が 49.0%（39.3%）、「自分に向けた仕事につけるか」は 41.3%（43.6%）である。また、「早朝・夜間・休日や病気の時の保育」は 27.9%（18.8%）、「子どもが保育所等の施設に入所できるか」 23.1%（14.5%）「放課後保育」 20.2%（9.4%）となり、子育てとの両立への関心が高まっている。

問14 全員の方におたずねします。これから女性が働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。(複数回答)

図 21



「女性の働きやすい環境をつくるために重要だと思うこと」については、「パートタイムなどの女性の労働条件を向上する」が 54.0% (32.5%)、次いで「保育所や学童保育(児童クラブ)などの育児環境を充実する」が 53.7% (35.6%) を占めている。また、「多様な働き方ができる環境を整備する」が 47.9% (31.2%)、「女性が働ける職場の増加や職業紹介の充実」が 47.1% (25.7%) 「出産後も職場復帰できる雇用制度を充実する」が 46.4% (30.4%) となっており、前回と同様に上位を占めている。いずれの項目も、前回調査より数値がかなり高くなり、女性が働くことに対して関心が高まっている。